

# 第 49 回日本・ASEAN 経営者会議 報告書

価値共創時代の日・ASEAN の共通課題  
～グリーン、デジタル、人材～

2024 年 2 月 16 日

公益社団法人 経済同友会

## 0. 目次

第 49 回日本・ASEAN 経営者会議 概要と総括 .....	3
日本・ASEAN の人材育成・環流を促進する「人材プラットフォーム構想」 .....	6
参考資料.....	9
プログラム.....	9
出席者 .....	11

## 1. 第49回日本・ASEAN 経営者会議 概要と総括

### (1) 第49回日本 ASEAN 経営者会議について

- 日本・ASEAN 経営者会議（ASEAN-Japan Business Meeting：AJBM）は、1974年に経済同友会の主導により発足した、日本とASEAN各国の企業経営者による国際会議である。発足以来、ASEANの地域経済統合の促進、日・ASEANの経済関係の強化を目的に、時宜にかなったテーマを設定し、各国の持ち回りで開催してきた。
- 第49回目となる本年の会議は、2023年11月2～3日にかけてシンガポールにて、AJBMシンガポール国内委員会・日本国内委員会（経済同友会）の共催、デロイトグループの協力によって開催された。ブルネイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、シンガポール、タイ、日本から、会場・オンラインの双方にて、170名の企業経営者が参加した。
- 今回会議の特徴は、長年続いてきた会議のプログラム構成や課題設定、運営方法など、さまざまな面で刷新を図り、次の時代のAJBMのショーケースを示すという狙いの下で企画された点にある。また、2023年日・ASEAN友好協力50周年を期して、各国政府が推進するさまざまなイニシアティブとの整合性を念頭に運営された。
- 具体的には、「日・ASEANによる経済価値の共創」という日本政府が提示している日・ASEANパートナーシップの将来ビジョンを踏まえつつ、11か国が直面する具体的な課題に焦点を当て、それぞれについて経済界の「生の声」を会議の場に持ち寄って議論をし、さらに議論から実践・行動につながる糸口を探ることを企図してプログラムを構成した。このため、本会議に先立って、日・ASEANの会議関係者を中心に、デロイトグループ・経済同友会によるワーキンググループが推進役となり、国別ワークショップやインタビュー・セッションを設け、企画の準備を行った。

### (2) グリーン、デジタル、人材という共通課題

- 今回会議で取り上げたテーマは、サステナブル・モビリティ（アジアにおけるカーボンニュートラルの現在地）、デジタル・エクスペリエンス（デジタルなユーザー体験の提供による成長戦略）、人材のバリューチェーン（経済価値共創をささえる人材の育成・活用・環流）の三つである。
- 「サステナブル・モビリティ」については、脱炭素に関する世界的なトレンドとして、政府・金融界・産業界による取り組みが加速している状況が紹介された。その上で、ASEANにおいては、経済成長・人口増を背景とするエネルギー需要増、再生可能エネルギー導入の見通し等、さまざまな制約からカーボンニュートラルの実現への道のりの厳しさが描かれた。
- パネリストの議論を通じて、エネルギー転換に伴う多大なインフラ投資の必要

性や、産業サプライチェーンの脱炭素化に向けたインセンティブの重要性等の現実的課題が共有された。その上で、アジアにおける脱炭素化の決め手として、あらゆる技術的ソリューションの可能性を同時並行で追求すること、複数・複線的な道筋を追求すること、また、一国・一企業に閉じない、多国間・セクター横断的な解とエコシステム的なアプローチを志向すること等が共通認識として確認された。そして、アジアの現実を踏まえた独自のアプローチ、欧米とは異なる方法論について、日・ASEANが一体となって、ワンボイスで発信していくことの重要性が確認された。

- 「デジタル・エクスペリエンス」については、成長産業として期待が集まるツーリズムの持続可能な成長に、デジタルの力をどう活かしていくかという観点から、各国の経験、知見の共有が行われた。
- コロナ禍前後で生じたツーリズムに関する変化、顕著な傾向として、中国の観光回復の遅れに伴う「量」の面でのツーリズムの回復の遅れ、団体旅行から少人数・個人観光へのシフト、旅行先・訪問先の多様化（都市から地方へ）など「質」の面での変化が挙げられた。
- こうしたトレンドを背景に、旅行先に関する情報収集、渡航手続き、各種予約、決済・支払い、Eコマースまで、ツーリズムに関わるあらゆる手続き・サービスを、ユーザーが円滑に享受できるようなデジタルプラットフォームの重要性が高まっていることが確認された。
- 「デジタル×ツーリズム」という領域では、人手不足、低生産性、オーバーツーリズム等、問題解決のための守りのデジタル化、ツーリズムの質や価値を高めるための攻めのデジタル化という二つの軸に基づき、各国・地域が独自の戦略を構築することが必要という認識が共有された。
- 「人材のバリューチェーン」については、前回、第48回AJBMを主催した日本（経済同友会）が、会議後に継続してきた議論・検討を踏まえて、日・ASEANによる人材育成・活用・環流を促進するための新しいプラットフォームの構想が示された。
- セッションでは、日・ASEANの若者が、多国籍のチームで社会課題解決に取り組むイノベーション・キャンプを中心に、産官学の多様なステークホルダーを巻き込むプラットフォームの構想を共有した後、日・ASEAN各国において、解決が待たれる社会課題の存在、人材育成・環流を生み出すために必要な取り組みについて、各国登壇者が議論を行った。
- 産業構造の変化やデジタル格差に伴う問題、グローバルマインドを持った人材育成等の課題から、ASEAN各国が直面する貧困、環境など差し迫った社会問題まで、さまざまな課題が洗い出された。
- その上で、プラットフォームに期待される役割について、アジアの現実、具体的な社会課題の所在を可視化し、多様なステークホルダーの間で共有すること、それら課題の解決に意欲を持ち、より良い社会を作りたいという「志」を持った人材、課題解決に必要な「力」やリソースを持つ企業や政府を繋ぎ、マッチングすること等が提案された。セッションを通じて得られたさまざまな提案を踏まえて、AJBMとして継続して議論・行動に取り組むことが確認された。

- 今回会議には、トミー・コー シンガポール外務省特命全権大使、石川浩司 駐シンガポール日本特命全権大使、紀谷昌彦 ASEAN 日本政府代表部大使が来賓として列席し、それぞれから、日・ASEAN の友好協力の歴史とその中で培われた「信頼」の価値について、深い思索と示唆が提供された。
- 次回、第 50 回 AJBM は、今回会議のトピックをさらに発展させ、具体的な声明・行動といった成果に結びつける方向で、タイの主催によって開催されることが確認された。

## 2. 日本・ASEAN の人材育成・環流を促進する「人材プラットフォーム構想」

### (1) 概要

- 第 49 回 AJBM において、経済同友会は「人材のバリューチェーン」をテーマとするセッションの企画・運営を主導し、日 ASEAN 委員会での議論・検討の成果として、日・ASEAN による人材育成・環流促進のためのプラットフォーム構想を提案した。
- 本構想は、ASEAN と日本の次世代を担う若者が、各国の多様な文化や歴史、社会課題について学び合い、相互理解を深化させることを起点として、社会的課題の解決やイノベーションの創出など、未来の経済社会を共創するための基盤をつくることを目的としている。(図 1)
- 具体的には、ASEAN と日本の若者を中心に、アジアの社会課題やその解決方法を体験的に学ぶイノベーション・キャンプを立ち上げることが、構想の中核的な要素である。
- それによって、社会変革に対する意欲を持った人材の発掘・育成、ネットワーク創出を図るとともに、さまざまな企業、スタートアップ、政府関係機関、国際機関、アカデミア、NPO・NGO 等のステークホルダーを共通のプラットフォームに巻き込み、イノベーション創出のために必要な資金、メンターシップ、ノウハウ、事業化支援策等のマッチングを目指す。(図 2)
- 多様なステークホルダーの間で、国籍やセクター、世代の壁を越えた交流を促進し、地域全体で人材の環流を促すことによって、日・ASEAN のパートナーシップを深化させることがこの構想の最終的なゴールである。

### (2) 構想の背景と特徴

- この構想の発端は、第 48 回 AJBM (2023 年 12 月東京) において、ASEAN と日本が共に取り組むべき最重要課題として、人材に関わるさまざまな課題を取り上げ、議論したことにある。
- この会議では、ASEAN における日本の存在感が低下し、相対化される中で、日・ASEAN の関係を見直す必要があること、共通課題の解決と価値創造を通じて、共に成長を目指すイコール・パートナーシップが、今後 50 年に向けた日・ASEAN の関係であること、等が確認された。
- さらに、デジタル化、先端技術活用、グリーン・トランジションといったグローバルな潮流に、日・ASEAN が「アジアの現実」に立脚し、一体となって対応していくことが必要であり、そのためにも、双方向的な人的往来・環流を一層促進することが不可欠である、という合意に至った。
- 同会議の後、第 49 回 AJBM でも継続してこの課題について議論するため、経済同友会としては、経済・産業構造や求められる人材像の変化に、日・ASEAN が対応していくためには、従来の人的交流、人材育成プログラムを補完する形で、新しいプラットフォームを立ち上げる必要があるのではないか、という仮説を立てた。そして、日・ASEAN のさまざまなステークホルダーと対話を重ね、プ

プラットフォームの「青写真」づくりを進めてきた。

- 日・ASEAN間では、既に歴史と実績あるさまざまな人的交流プログラムが実施されている。(例えば、内閣府の「世界青年の船」事業、日本国際協力センターのJENESYSプログラム、文部科学省のトビタテ！留学 JAPAN など)
- また、2023年、日・ASEAN友好協力50周年を機に策定された「日・ASEAN経済共創ビジョン」の担い手として、ヤング・ビジネス・リーダーズ、Z世代ビジネスリーダーズなど、20～40代の次世代リーダーによる新しいコミュニティも発足している。
- そうした中で、経済同友会/AJBMが構想を示したプラットフォームは、以下のような点が特徴であり、さまざまな異なるプログラムやコミュニティを、接続し、補完する位置づけにある。
  - 次世代・若者中心、世代を超えた学びあい
  - アジア発の価値共創、課題解決
  - セクター、分野、組織の横断
  - 参加者に対する成果と出口の提供

### (3) 今後の展開

- 第49回AJBMで同構想について各国参加者から賛同を得、構想の具体化に向けてAJBMでも継続して議論・検討をすることで合意が得られた。
- これらの成果を踏まえ、日ASEANの経済協力、人的交流に関わる経済産業省、外務省、文部科学省や関係する政府機関に加えて、ERIA（東アジア・アセアン経済研究センター）とも対話・調整を進め、2024年度のパイロット版企画の立ち上げを予定している。
- このパイロット版の立ち上げについては、2024年度、第50回AJBMにおいて発表を行う予定である。

**Vision** “ASEAN with Japan” のつながりから、未来の経済・社会を共創し、世界に発信する

価値共創を担う人材の育成と、それら人材の環流・機会提供のためのプログラムを起点に、国・世代・セクターの壁を越えたステークホルダーとともにイノベーション創出のためのコミュニティを構築し、日ASEANの新たなパートナーシップとして発展させる。



**Mission**

- 各国の多様な文化・歴史・社会課題を学び合い、相互理解を深化させる機会を提供する。
- 国籍・文化等の多様性を前提に、協働・共創し、イノベーションを生み出すためのスキルの獲得機会を提供する。
- 未来の経済・社会の共創につながる人的ネットワークの獲得機会を提供する。

図1 人材プラットフォームのミッション、ビジョン

プラットフォームの構築にむけた24年度コア・プログラムの実現とその先

**コア・プログラム（パイロット版）**

24年度第一歩として、日・ASEANの若者の相互の学びと相互理解の深化、協働・共創するためのスキルの獲得に焦点を当てたパイロット版のコアプログラムを企画・開催。



**プラットフォーム：イノベーション創出のためのコミュニティ**

国・世代・セクターの壁を越えたステークホルダーによる価値共創、イノベーション創出のためのコミュニティ。



意欲ある若者が「多様性を前提とした共創や協働し、イノベーションを生み出すためのスキル」を学ぶ場であると同時に、ファンリテーターやエキスパートとしての参加者にとっても、多様な人材との交流の中で新たな気づきや学びを得る場として位置付ける。

図2 人材プラットフォームの目指す姿とコア・プログラム



### 3. 参考資料

#### (1) プログラム

##### 第49回 日本・ASEAN経営者会議

2023年11月3日(金)9:00-17:00 / シンガポール (オンライン併用) 開催  
Atrium Ball Room, Raffles City Convention Center (80 Bras Basah Rd, Singapore 189560)  
主催: AJBMシンガポール国内委員会 共催: 経済同友会

全体テーマ: 価値共創時代の日・ASEANの共通課題 ~グリーン、デジタル、人材~

9:00-9:25	開会式
9:00-9:10	開会挨拶
Cecil Leong (シンガポール)	49th AJBM Chairman (AJBM Singapore)
平子 裕志 (日本)	第49回AJBM 共同議長 経済同友会 日ASEAN委員会委員長 ANAホールディングス 取締役副会長
9:10-9:20	来賓挨拶
石川 浩司 (日本)	駐シンガポール日本国特命全権大使
Eugene Ho (シンガポール)	CEO, Deloitte SEA
9:20-9:25	基調講演
Tommy KOH (シンガポール)	シンガポール外務省 特命全権大使

9:25-9:50 コーヒーブレイク

9:50-10:00

導入

北川 史和 (日本)

デロイト トーマツ コンサルティング 執行役員

10:00-11:30

セッション1  
【Sustainable Mobility】アジアにおけるカーボンニュートラルの現在地

10:00-10:40

プレゼンテーション

柴原 隆志 (日本)

デロイト トーマツ コンサルティング 執行役員

10:40-11:30

パネルディスカッション

池谷 光司 (日本)

経済同友会 日ASEAN委員会副委員長  
前 三菱自動車工業株式会社 代表執行役副社長

Kasemsit PATHOMSAK (タイ)

Vice Chairman, Board of Trade of Thailand (BoT)

Corieh DICHOSA (フィリピン)

Executive Director, Philippine Board of Investments

Yusra KHAN (インドネシア)

Ambassador, Environment Stakeholder Member National Energy Council,  
Indonesia

Brian Chi Kuen HO (シンガポール)

Partner, Deloitte

柴原 隆志 (日本)

デロイト トーマツ コンサルティング 執行役員

村上 泰之 (シンガポール/タイ)

デロイト コンサルティング 執行役員

Rikuto YAMADA (シンガポール)

デロイト コンサルティング Manager

11:30-11:45

コーヒーブレイク

11:45-13:15	セッション2 【Digital Experience】デジタルなユーザー体験の提供による企業、地域、国の成長戦略
11:45-12:20	プレゼンテーション
塩谷 拓也 (シンガポール)	デロイト コンサルティング 執行役員
Rasheed Deen BASHEER AHAMED (シンガポール)	Manager, Deloitte
11:20-13:15	パネルディスカッション
Raja Hamzah ABIDIN (マレーシア)	Co-Founder and Co-Managing Partner, RHL Ventures
Gan-Low Mai LEONG (マレーシア)	Head, Economics & Investment, Iskandar Regional Development Authority
馬淵 邦美 (日本)	Partner, Deloitte
橋口 健一郎 (シンガポール)	Senior Manager, Deloitte

13:15-14:30	昼食懇談会
来賓挨拶	
紀谷 昌彦 (日本)	ASEAN日本政府代表部大使
Eddie NG (シンガポール)	Head, Digital & Data Strategy, PSA BDP

14:30-16:00	セッション3 【HR Value Chain】価値共創をささえる人材の育成・活用・環流の実現
プレゼンテーション	
渡部 一文 (日本)	経済同友会 日ASEAN委員会 副委員長 SOMPO HD グループCXO
パネルディスカッション	
堤 浩幸 (日本)	経済同友会 日ASEAN委員会 副委員長 富士通執行役員
Jiraphant ASVATANAKUL (タイ)	Vice Chairman, The Thai Chamber of Commerce (TCC)
Ferdinand A. FERRER (フィリピン)	Chairman and CEO, EMS Group Co-Chairman, The Philippines Japan Economic
Avishek NANDY (シンガポール)	Partner, Bain & Company, Inc.
濱川 明日香 (日本)	一般社団法人Earth Company & Mana Earthly paradise 代表理事

16:00-16:15	コーヒーブレイク
16:15-17:00	総括・閉会式
総括挨拶	
府中 隆明 (シンガポール)	デロイト コンサルティング 執行役員 AJBM Singapore Representative
開会挨拶	
Cecil Leong (シンガポール)	Chairman, the 49th AJBM (AJBM Singapore) PSA Singapore
Kalin SARASIN (タイ)	Honorary Chairman, The Thai Chamber of Commerce and Board of Trade of Thailand (TCC&BoT)
間下 直晃 (日本)	経済同友会 副代表幹事 ブイキューブ 取締役会長 グループCEO

(2) 出席者 ※所属・役職は会議出席当時

<来賓・議長>

氏名	所属(会社・団体)・役職
<b>来賓</b>	
シンガポール	
H.E.Mr. Tommy KOH	Ambassador-at-Large Ministry of Foreign Affairs, Singapore
Eugene HO	Deloitte Southeast Asia CEO
Wan Chee Foong	PSA / BDP CEO
Ho Ghim Siew	PSA / BDP CEO(Products)
Eddie Ng	PSA / BDP Head, Data & Analytics
日本	
石川 浩司	駐シンガポール日本国特命全権大使
紀谷 昌彦	ASEAN日本政府代表部大使
佐瀬 真人	デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社 代表執行役社長
<b>議長</b>	
シンガポール	
Paul LEONG	PSA / BDP Head, Trade Management The 49th AJBM Chairman(AJBM Singapore Representative)
<b>共同議長</b>	
日本	
平子 裕志	ANAホールディングス 取締役副会長
間下 直晃	ブイキューブ 取締役会長 グループCEO

<登壇者>

氏名	所属(会社・団体)・役職
<b>登壇者(セッション1)</b>	
日本	
兼原 隆志	デロイト コンサルティング 執行役員
池谷 光司	経済同友会 日ASEAN委員会副委員長 前 三菱自動車工業株式会社 代表執行役副社長
Kasemsit PATHOMSAK	Board of Trade of Thailand (BoT) Vice Chairman
シンガポール	
Brian Chi Kuen HO	Deloitte Partner
村上 泰之	デロイト コンサルティング 執行役員
山田 陸人	デロイト コンサルティング マネージャー
フィリピン	
Corieh DICHOSA	Philippine Board of Investments Executive Director
インドネシア	
Yusra KHAN	Ambassador, Environment Stakeholder Member National Energy Council, Indonesia

登壇者(セッション2)	
シンガポール	
塩谷 拓也	デロイト コンサルティング 執行役員
Rasheed Deen BASHEER AHAMED	Deloitte Partner
橋口 健一郎	Deloitte Senior Manager
マレーシア	
Raja Hamzah ABIDIN	RHL Ventures Co-Founder and Co-Managing Partner
Gan-Low Mei LEONG	Economics & Investment, Iskandar Regional Development Authority Head
日本	
馬淵 邦美	Deloitte Partner
登壇者(セッション3)	
日本	
渡部 一文	SOMPOホールディングス グループ CXO 執行役常務
堤 浩幸	富士通 執行役員SEVP
濱川 明日香	一般社団法人Earth Company & Mana Earthly Paradise 代表理事
タイ	
Jiraphant ASVATANAKUL	Thai Chamber of Commerce (TCC) Vice Chairman
フィリピン	
Ferdinand A. FERRER	Gruppo EMS, Inc. Chairman & CEO
シンガポール	
Avishek NANDY	Bain & Company, Inc. Partner

### <日本側出席者>

氏名	所属(会社・団体)・役職
経済同友会会員(日ASEAN委員会関係者含む)	
日本	
石田 裕樹	YCPホールディングス 取締役兼グループCEO
鮎川 宏樹	株式会社モンスターラボホールディングス 代表取締役社長
入佐 孝宏	株式会社リコー コーポレート上席執行役員
今村 卓	丸紅 執行役員
小川 達大	コーポレートディレクション 代表取締役 Managing Director
小室 淑恵	ワーク・ライフバランス 取締役社長
酒井 重人	グッゲンハイム パートナーズ 取締役副会長
豊島 俊弘	マーキュリアインベストメント 代表取締役
永久 幸範	アラブ・ブライズ・リマ・インベストメント・サービス 取締役会長
中村 壮秀	アライドアーキテクト株式会社 代表取締役社長
平井 龍太郎	双日 取締役副社長執行役員
船橋 元	ICMG 取締役
古田 未来乃	武田薬品工業 ジャパンファーマビジネスエグゼクティブ
保坂 雅樹	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー 経営会議議長

細野 恭平	ドリームインキュベータ 取締役副社長COO
堀内 勉	多摩大学社会的投資研究所 所長
三宅 茂久	税理士法人山田&パートナーズ 統括代表社員
宮原 京子	ファイザー 取締役執行役員
渡辺 治子	アメリカンホーム医療・損害保険 取締役社長兼CEO
齋藤 弘憲	経済同友会 常務理事
<b>会員ご所属企業</b>	
<b>日本</b>	
出原 由佳子	ANAホールディングス 経営企画部マネージャー
入江 貴陽	税理士法人山田&パートナーズ シンガポール責任者
江藤 宗彦	ドリームインキュベータ DIインド取締役
大山 賢	日本貿易振興機構 次長
風間 誠	ANAホールディングス 秘書部 担当部長
北見 創	日本貿易振興機構バンコク事務所 所員
五味 拓也	税理士法人山田&パートナーズ
坂口 利彦	帝人 ミッション・エグゼクティブ 全社渉外担当
竹村 倫人	ANAホールディングス 担当部長
土橋 健太郎	日本航空 アジア・オセアニア地区支配人室シンガポール支店長
中小司 和広	ドリームインキュベータ ディレクター
山邑 友実	税理士法人山田&パートナーズ
ラシェッド モハッド	帝人 上席グローバル管理管掌付
<b>政府、政府機関、関連団体</b>	
<b>日本</b>	
Ryota AOKI	Kyoto Electronics Manufacturing Co., Ltd.Overseas Sales & Marketing Manager
Toru ISONO	Singapore Branch, Frontier Management Inc. Senior Director
Yosiki OSAWA	Ritsumeikan Asia Pacific University Deputy Director
Junichiro KURODA	JETRO Bangkok
Haruhiko SASAKI	THE NISHI-NIPPON CITY BANK,LTD. Chief Representative
Tsuyoshi SHIONOYA	Japan International Cooperation Center Managing Director
Kenji NAITO	Reeracoen Singapore Managing Director
Ayaka NITTA	Japan International Cooperation Center Deputy Director / Youth Exchange Division /International Exchange Department
<b>ASEAN</b>	
Mai YAGISHITA	Economic Research Institute for ASEAN and East Asia(ERIA) Planning and Coordination Manager